

ブナの里

あざやかな晴天に雪化粧が映える黒松内町「ブナの小道」のブナの大木

写真提供：黒松内町ブナセンター

- ◇ 2025年 大代理事長 新年のあいさつ P2, 3
- ◇ 当法人事業所のある4町村長から新年のごあいさつ P4, 5
- ◇ 法人各施設 年末行事特集 P8~11

2025年 年頭のおぼろ



社会福祉法人黒松内つくし園
理事長 大代 貴輝

新年明けましておめでとうございませう。

2025年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

利用者・ご家族の皆様をはじめ、関係機関各位、地域の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

また、日頃より当法人の運営に当たり、地域の皆様をはじめ黒松内町、倶知安町、京極町、泊村他関係機関の皆様には格別なるご支援ご協力を賜り心より感謝と御礼を申し上げます。さらに、法人役員とご家族の皆様には日頃の法人運営へのご尽力並びにご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

昨年は社会福祉法人黒松内つくし園理事長として3期6年目の事業年度を厳しい環境の中務めてまいりました。本年6月の

任期・役員改選まで、引き続き健全経営に向けた取り組みを進めてまいります。

社会福祉法人を取り巻く環境はより一層厳しさを増し、燃料費や電気料、食材や消耗品等の物価高騰は著しく、経営への影響は甚大であります。さらに福祉人材確保は困難を極め、法人全体の職員数は昨年12月末で450名弱にまで減少しております。この難局を乗り切るため、関係各位ならびに利用者・ご家族の皆様のご理解ご協力を賜りながら、役員一丸となって法人運営に取り組んでまいります。

現在、2024年度事業計画・資金収支予算達成に向けて、役員一同力を合わせて取り組んでおります。第3四半期が経過し、事業運営と経営状況は前年度よりさらに厳しい状況が続いております。今年度決算まで

の残り3ヶ月を健全経営へ向け全力で取り組んでまいりる所存でございます。

2024年は、法人にとってこれまでの事業の在り方と今後の事業方針の決定へ向けて重要な年となりました。

倶知安・ニセコ地区での賃金高騰により福祉人材確保が困難を極め、人件費増加と物価高騰等により事業継続が困難となり、倶知安地区3事業の廃止を決定しました。訪問介護事業所「ヘルパーステーションつくしんぼ」を2月に廃止。複合施設つくしんぼの閉鎖へ向けて、倶知安町をはじめ関係各位の協力のもと利用者のご理解をいただき、認知症対応型共同生活介護事業所「グループホームつくしんぼ」の運営を4月に終了、10月に事業廃止しました。就労支援B型事業所「人と人をつなぐ陽だまり」の事業を11月に廃止し、羊蹄セルプへの利用者移行を12月に終えることができました。

また、黒松内町でも訪問介護事業の運営は困難を極め、3月に利用者の他事業所への移行等を終え、4月より事業休止致し

ました。

そして、全国の特別養護老人ホームの6割が赤字経営となっている中、当法人の介護保険事業所の運営も非常に厳しい状況に陥っております。黒松内町の特養と老健、養護老人ホームでも職員・利用者確保と人件費・物価高騰等の影響により、深刻な経営状況であります。特に特養「緑ヶ丘ハイツ」では、利用定員8名と対応に必要な介護職員数を確保することが難しく、今後の入所者数を減少させ、効率的な運営を目指すべく、黒松内町と今後の方針決定へ向けた協議をスタートしました。2025年4月より新体制での運営を行う検討を進めております。

一方、全国で児童や障がい者高齢者への虐待が急増している中、当法人でもここ数年不適切なケアや虐待が多く発生してまいりました。昨年にも北海道特別監査を数件受監し勧告・指導をいただきました。法人一丸となって再発防止を図るため、外部通報窓口を設置しました。また、法人全体での虐待防止研修を行い、虐待・権利侵害ゼロ宣

言を發出しました。法人役職員全員が虐待ゼロへ向けて取り組んでいるところであります。

福祉人材確保はさらに深刻な状況であり、当法人においても職員確保に大変苦慮しております。そのような中、昨年は特定技能インドネシア人5名を受け入れ、本年春には新たにミャンマー人特定技能12名を採用予定です。外国人職員は6ヶ国から総勢50有余名となります。関係町村や地域の皆様のご理解ご協力をいただきながら、多文化共生社会の実現への取り組みをさらに進めてまいります。

人材確保・定着・育成と職員の待遇改善を図るため、様々な取り組みを行ってまいりました。そのような中、「北海道働き方改革推進企業」の認定基準を多く満たし、「ゴールド認定」をいただきました。北海道のホームページの中でも掲載されておりますが、ゴールド認定は道内で全業種の中12社しかなく、社会福祉法人では初めての認定であります。当法人としてもこれまでの取り組みが評価されることとなり、非常に喜ばしく誇ら

しい認定をいただきました。

福祉・介護現場の職員不足を補うため、職員の負担軽減と業務改善に向けての取り組みも急務であります。昨年はユニットケア慶和園と湯の里・黒松内で介護ロボット導入（見守りセンサー設置）を完了しました。見守りセンサーにより利用者への適切な健康管理と効率的な支援を行い、ケア記録入力業務を簡素化する等により労働生産性向上を目指します。

昨年は新型コロナウイルス感染症が5類移行から1年が経過し、世間ではコロナ禍前の活況が戻ってきたようであります。各事業所の行事や外出等も徐々に増え、しりべし学園・成人寮「ふれあいまつり」も5年ぶりに園庭でステージを設置して開催しました。入所施設でのご家族の面会等も、各施設の状況を見ながら徐々に増加させております。しかしながら、新型コロナウイルス感染症や様々な感染症の蔓延は依然続いており、当法人事業所でも利用者と職員の感染が後を絶ちません。福祉の現場では

引き続き感染症対策の継続と、利用者の生命（いのち）と生活（くらし）を守るため日々努めております。関係各位の皆様にはご理解とご協力をお願い申し上げます。

本年は、介護保険事業再編をはじめとする中長期的経営方針決定を行い、様々な経営課題を乗り越え健全経営に真摯に取り組まなければなりません。非常に厳しい経営状況の中、将来の事業運営の在り方や定員変更、施設整備等の課題に取り組んでまいります。

今後も社会福祉の動向を見ながら、地域福祉向上と社会貢献への取り組みを継続し、地域住民や関係団体、行政等地域一体となった運営をさらに進めてまいります。

本年も黒松内町、倶知安町、京極町、泊村のご理解ご協力を賜りながら、福祉サービス向上のため役職員一同さらなる努力を重ねてまいります。社会福祉法人としての役割と使命を果たしていくための取り組みをより一層進めてまいります。今後ともご指導、ご鞭撻を賜

りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健康とご多幸を心よりご祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

謹賀新年

本年もよろしくお願ひ致します
社会福祉法人
黒松内つくし園 役員一覽

理事	大代貴輝	理事	遊部眞澄	常務理事	遊部眞澄	理事	吉田剛	理事	小谷孝夫	理事	池田重人	理事	高橋英俊	理事	坂口孝進	理事	岡久雄	理事	松田政敏	理事	高橋光彦	理事	高橋一光	理事	高橋順子	理事	松田順子	理事	大迫克裕	理事	小野裕	理事	佐々木	理事	大久保	理事	追立有
----	------	----	------	------	------	----	-----	----	------	----	------	----	------	----	------	----	-----	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----

法人施設事業所のある4町村長より 2025年 新年のごあいさつ

新年にあたって



鎌田 満 黒松内町長

新年あけましておめでとうございます。

社会福祉法人黒松内つくし園の大代理事長をはじめ、役職員の皆様、また、施設の利用者とそのご家族の皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

福祉を取り巻く状況が日々変化の中にあつて、本町が抱える様々な福祉課題に対しご理解をいただき、事業の安定的な運営や地域貢献活動を通じて、町民や利用者が永く安心して暮らすことのできる環境の維持推進にご尽力を賜り、地域を代表して感謝と敬意を表します。

近年、多様化するニーズや社

会的孤立、生活困窮等を背景とする生活課題に対し、地域共生社会の実現を目指して、分野を超えた包括的・重層的な支援が求められております。少子高齢化や人口減少など多くの困難に立ち向かうためにも、事業者と行政の協働は欠くことのできないものでありますので、今後とも一層のご協力をお願い申し上げます。

昨年は介護・障がい・医療に関する報酬の改定が行われましたが、貴法人におかれましても人材の確保や物価高騰を含めた各種経費の増加が経営上の重要課題であると思われまふ。大代理事長を中心に職員の方々の英知を結集し、これらの難局を乗り越え、常に時代と地域の要請に応えた質の高い福祉サービスが展開されることを期待しております。

結びにあたり、貴法人が更なる飛躍を遂げられますとともに、

関係各位の益々のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭ご挨拶



文字 一志 俱知安町長

新年あけましておめでとうございます。

貴法人の役職員をはじめ、施設の入所者・利用者、またそのご家族の皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

急速に進む少子・高齢社会において、自立が困難な高齢者の住環境問題、障がいを持つ方の就労支援など本町が抱える福祉行政課題に対し、貴法人にご尽力頂いておりますことに改めて敬意を表する次第であります。

貴法人が本町において運営されている就労支援事業所「羊蹄

セルブ」をはじめとする福祉施設は、俱知安町にしっかりと根付き、本町はもとより、これら施設の利用者並びにご家族の方にも大変感謝しているところでございます。

近年、地域住民の複合・複雑化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を整備するための重層的支援体制整備事業が推進されております。

エネルギー価格や物価の高騰による経費の増加が、法人経営への影響も心配されるところでありますし、全国においても介護職員等の人材確保が課題となつてるところです。また、今後、様々な制度改正が進み、福祉のあり方が大きく変化する中で、黒松内つくし園に代表される専門性・経験豊かな社会福祉法人、NPO等の役割は大きく、行政と皆様方の協力・協働がなければ、この難局は乗り越えられないと感じておりますので、本町に対する、貴法人の一層のご協力をお願い申し上げます。

末筆になりますが、貴法人の益々のご発展ご活躍と皆様にと

りまして良い年になりますようにご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のごあいさつ



佐古岡 秀徳 京極町長

あけましておめでとうござい
ます。

貴法人の役職員の皆様をはじめ、施設のご利用者のご家族の皆様におかれましては、令和7年の新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素より、本町の地域社会福祉の向上に深いご理解と温かいご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、貴法人が本町で運営されております「養護老人ホーム慶和園」、「特別養護老人ホームユニットケア慶和園」においては、職員の皆様の日頃からのご研鑽により、豊富な知識と経験

に基づく質の高いサービスを提供いただき、利用者はもとよりご家族の皆様から高い評価をいただいております。特に「特別養護老人ホームユニットケア慶和園」につきましては、利用者の住まいとして看取りに対する環境整備及びケアにご尽力いただいているところであり、当町の地域包括ケアが大きく向上いたしました。

また、令和6年度より、障がい者及び障がい児が孤立することなく、住み慣れた環境で暮らしを続けられるよう「京極町地域生活支援拠点」を整備していただいたところであり、高齢者及び障がいのある方が住み慣れた当町で安心した生活を続けていくための大きな役割を果たしていただいておりますことに重ねて感謝申し上げます。

今後におきましても、貴法人には、高齢者や障がいのある方が、住み慣れた京極町で安心して生き活きと暮らすことができ、環境づくりに努めていただくとともに、災害発生時には福祉避難所の開設にご協力をいただきますよう、よろしくお願い申

し上げます。

結びにあたり、貴法人の役員員および施設のご利用者ご家族の皆様にとつて、本年が良い1年となりますことを心からご祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

年頭ご挨拶



高橋 鉄徳 泊村長

新年明けましておめでとうござい
ます。

令和7年の新年をお迎えになられました貴法人の役職員の皆様、施設をご利用されております皆様及びご家族の皆様には、心からお慶び申し上げます。

また、日頃より老人ホーム（特養・養護）の運営、令和6年4月から配食サービス事業を受託いただき、本村の地域福祉の

向上に寄与いただいていること
に對しまして深く感謝申し上げます。

昨年は地元の祭りで職員の方々の参加協力や、「むつみ祭り」では地域の団体のイベント参加、こどもや普段むつみ荘とのかかわりが少ない世代であるう地域住民の参加など、地域の行事やイベントを通じて施設と地域がつながりを深めた1年になりました。「むつみ祭り」では地域の人も巻き込んで「一緒」に協働することができました。そのプロセスが地域包括ケアにおいて、ご利用者様や施設関係者が地域の人々と交流を深め、地域の様々な人々が施設に出入りできるようになることで、高齢者だけではなくみんなが暮らしやすい村づくりになっていくことと思います。

結びにあたり、社会福祉法人黒松内つくし園の益々のご繁栄と職員の皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。本年も発展と喜びの多い明るい年になるようよろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人黒松内つくし園

2024年重大ニュース!

当法人の「2024年重大ニュース」が決定しました。

社会福祉法人を取り巻く環境は厳しさを増していますが、倫理綱領のもと利用者主体のより良い自立支援サービスを提供し、社会貢献事業の継続・推進、SDGsやD&Iの取り組みを行ってまいります。

福祉・介護職員の確保がさらに困難を極め、2024年12月末には、法人全体役職員数が450名を割り込みましたが、一丸となってサービス向上に取り組んでまいります。

さて、この2025年、どのような話題が会報「ブナの里」の紙面を飾るのでしょうか。法人にとって皆様にとって、明るいニュースがより多く伝えられることを期待します。

☆訪問介護事業所「ヘルパー
ステーションつくしんぼ」
を事業廃止 (2月)

☆訪問介護事業所「黒松内
つくし園ホームヘルパー
ステーション」を事業休止
(4月)

☆法人辞令交付式で新卒採
用者10名が辞令を受け取る
(4月) =写真=

☆児童養護施設黒松内つく
し園の本園入所定員を70名
から60名に変更 (4月)

☆法人奨学資金50,000円を黒松内町内の高校生15名
に支給 (4月)

☆しりべし学園・成人寮で5年ぶりに園庭にステー
ジを設置して「ふれあいまつり」開催

☆特定技能インドネシア人5名が法人4事業所に配
属され、辞令交付式・研修会を開催 (8月)

☆認知症対応型共同生活介護事業所「グループホー
ムつくしんぼ」を事業廃止(10月)

☆就労支援B型事業所「人と人をつなぐ陽だまり」
を事業廃止 (11月)

☆法人の職員待遇改善への取り組みが評価され「北
海道働き方改革推進企業ゴールド認定」を受ける
(11月) =写真=

☆法人各施設でクリスマス会や年忘れ会などの2024
年年末行事を開催する(12月)



北海道

北海道働き方改革推進企業
認定証
(ゴールド認定)

認定番号 G00017号
有効期間 令和8年(2026年)11月30日

企業等の名称 社会福祉法人黒松内つくし園
所在地 寿都郡黒松内町字黒松内562番地1

【働き方改革の取組分野】

大区分	多様な人材の活躍					就業環境の改善		生産性の向上
小区分	女性	高年齢者	障がい者	若者	職業環境改善と非正規対策	多様な働き方の導入	仕事と子育て・介護等の両立	付加価値の向上 効率性の向上
該当	☆	☆	☆	☆	☆		☆	☆

令和6年(2024年)11月8日
北海道知事 鈴木 直道

「グループホームつくしんぼ」
「人と人をつなぐ陽だまり」
を事業廃止

俱知安地区複合福祉施設つくしんぼ1階の「喫茶陽だまり」と、2、3階の「グループホームつくしんぼ」が10月31日をもって事業を終了しました。



陽だまりは、町民や障がい者誰もが集える場所をコンセプトに、就労支援事業の利用者をはじめ、ランチタイムは常連客やママさんたちの憩いの場として、夕方には放課後の子ども達のみならず、賑わい、土曜、祝日はファミリーでいつも満席だった人気店でした。

この度、就労支援事業所「人と人をつなぐ陽だまり」を事業廃止し、今後は町内峠下地区に

ある「えぞふじ納豆」でお馴染みの羊蹄セルプと事業を統合し、お弁当や仕出し事業、地域イベント等への出店等は継続します。

陽だまりとグループホームつくしんぼの事業廃止に際し、利用者ご家族には大変ご迷惑をお掛け致しました。また、俱知安町や関係機関の皆様にご支援ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

あつという間の15年間、たくさんの方々にご愛顧いただき誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。



謹賀新年

蝦夷富士（羊蹄山）の湧水を使用した手作り納豆をご賞味ください。



えぞふじ納豆



しょうがいしゃの就労と生活を支える **羊蹄セルプ**

TEL (0136) 23-0425 FAX (0136) 22-1985
URL <http://www.selp.jp/>

2024年 法人年末行事特集

法人各施設ではいろいろな工夫をしながら、感染対策を徹底して利用者が笑顔となるよう年末の催しを行いました。

しりべし学園「クリスマス会」

今年のクリスマス会は、感染症拡大防止のため、やむなく規模を縮小して開催しました。それでも、サンタに扮した施設長が登場するや大盛り上がり！みんなクリスマスを(プレゼントを?)楽しんでいました。



黒松内つくし園「クリスマス会」

12月21日、クリスマス会が行われました。大代理事長をはじめ法人関係の方々、小・中学校の先生方など50名以上の来賓にお越しいただきました。

セレモニーでは、キャンドル隊の子ども達がテーブルのろうそくに火をともしてまわり、幼児さん達がステージで『きらきら星』の歌を披露しました。来賓挨拶



などの後はサンタさんが登場、トナカイの運んできたプレゼントの大箱から飛び出し、会場を驚かせました。

続く祝会では、9グループの有志が歌やダンス、クイズなどを発表しました。中でも、3月に卒園を予定する高校生が職員のギター演奏に合わせて熱唱し、担任に感謝の言葉を述べると、会場からは熱い拍手が沸き起こりました。ビンゴ大会を挟み、最後は職員企画、来賓にもご参加いただき、会場を一周する『きらきら星』の輪唱で会を締めくくりました。

湯の里・黒松内「クリスマス会・忘年会」

湯の里・黒松内では各フロアで考え年末にふさわしい楽しい企画「クリスマス会」「忘年会」を行いました！

「クリスマス会」のフロアでは、利用者と職員ともにサンタやトナカイの衣装を身にまとい、クリスマス気分を味わいました。サンタの衣装を着た職員から利用者一人ひとりにプレゼントが手渡され、皆様喜ばれていました。

「忘年会」のフロアでは、紅白カラオケ大会を開催しました。利用者と職員が自慢の歌を披露し点数を予想するという大会で、拍手あり笑いありの賑やかなひと時になりました。



黒松内保育園「クリスマス会」

12月20日、保育園のクリスマス会が開催されました。園児たちは12月に入ってすぐ、クリスマスダンスや「赤鼻のトナカイ」の手話、「あわてんぼうのサンタクロース」の歌を練習し、ツリーの飾りつけをして、この日を楽しみに待っていました。サンタさんの登場に子ども達から大きな歓声があがりました。支援センター「さんさん」利用のご家族も集まり、賑やかになったクリスマス会。プレゼントのお礼にお遊戯「やってみよう」も披露しました。サンタさんとお別れの時間が近づき「来年もまた来てね。」と子ども達からの言葉に、大きく手を振って帰って行きました。



後志リハビリセンター「クリスマス会」

12月24日、後志リハビリセンターでクリスマス会を開催しました。今回もゲームやクイズを行いました。ゲーム終了後はプ



レゼントの配布を行い、夕食は豪華特別メニューに舌鼓を打ち楽しい一日を送る事ができました。

泊村老人ホームむつみ荘「クリスマス会」

養護むつみ荘ゆかりユニットでは、クリスマスにオードブルを注文してクリスマス会を開催しました。普段とは違うメニューに「こんなにごちそう食べれるの？」と喜ばれていました。美味しそうにペロリとたいらげ、「またやってほしい！」と好評でした。



しりべし学園成人寮「クリスマス会」

クリスマス会を行う予定でしたが、感染症による利用者の体調不良等があり、残念ながら中止となりました。そのため各棟に分かれケーキやジュースなどを食べたあと、プレゼントをそれぞれお渡ししました。笑顔もたくさん見られました。



緑ヶ丘老人ホーム「12月誕生会」

12月の誕生会では、職員による余興でサンタクロースやトナカイなどに扮し歌を披露してくれました。皆さんも一緒に口ずさみクリスマスの雰囲気の中で大変盛り上がりました。



緑ヶ丘ハイツ「クリスマス会」

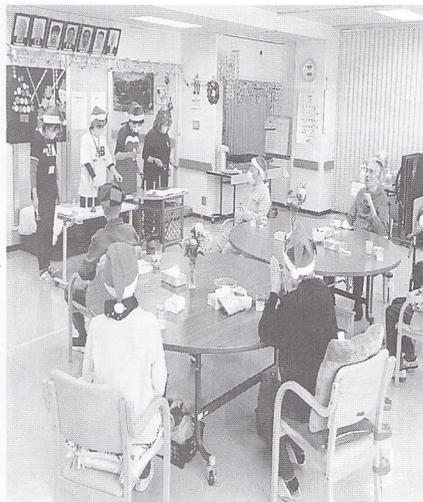
12月24日に各階でクリスマス会を開催しました。みんなで「ジングルベル」、「赤鼻のトナカイ」を歌い、一人ひとりにサンタからプレゼントをお渡ししました。その後、お菓子と飲み物を賞味しながら談笑し、とびきりの笑顔や笑い声が上がっていました。今後も利用者の皆さんが楽しめる時間を少しでも感じ取れるよう職員一同頑張っていきます。



黒松内町サービスセンター「忘年会」

12月16日(月)から20日(金)に、1年間の感謝を込めて忘年会を開催。

利用者や職員のカラオケで会場は大盛り上がり。職員によるハンドベルも演奏。「きよしこの夜」を披露した際には、利用者が口ずさんでくれて、一足早いクリスマスモードに！最後には利用者の音頭により万歳三唱で締めくくられました。



後志リハビリセンター「もちつき」



実習生と一緒に餅つき。どっちを見てる？

後志リハビリセンター「新年を迎える準備」

●繭玉飾り

縁起物を飾って新年を迎えるため、職員と利用者さんが一緒に作業を行いました。繭玉飾りでは利用者さんが外国人職員に「昔は…」「日本では…」と、日本の風習を教えながら一緒に作業をしていました。



●熊手作り

「熊手もどきうちわ」にはだるま、小判、鯛、干支の蛇などの飾りを張り付け、素敵な熊手が完成。これで「福をかき集めるぞ〜」

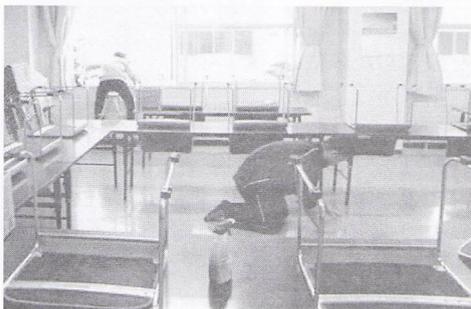


黒松内つくし園「お正月準備」

職員と子ども達で新年を迎える準備をしました。

12月25～28日に、交流スペースや男女お風呂場、食堂、玄関の大掃除を行いました。

29日には、まゆ玉飾りを作り、玄関ホールと食堂に飾りました。



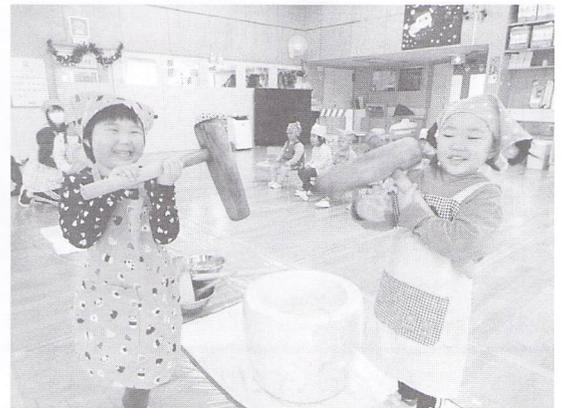
黒松内つくし園「もちつき」

12月26日に職員と子ども達でもちつきが行われ、つくたてのおもちをみんなで食べました。



黒松内保育園「もちつき」

12月6日、毎年恒例のもちつきを行いました。ご家庭ではきっと珍しくなった杵と臼を使ったもちつきに、子ども達は大喜びで、何度も何度もついていました。ひよこ組ではふかしたてもち米の試食が大人気でした。あんにきな粉、砂糖醤油と色々なもちの味に、お腹が一杯になった子ども達でした。



湯の里・黒松内「もちつき」

12月27日に毎年恒例のもちつき大会を行いました。

1階ホールに集合し大勢の皆さんの前で利用者、職員が協力して5升のもちをつき上げました。

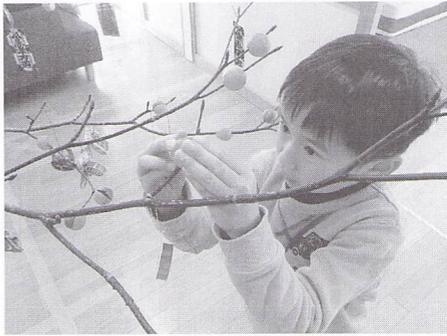
つくたてアツアツのおもちは女性利用者と職員の手で丸

められ昼食の雑煮になりました。皆さん慣れた手つきで行われており、昔を思い出しに花を咲かせ楽しく行うことができました。



黒松内保育園「まゆ玉飾り・大掃除」

まゆ玉飾りに大掃除、保育園でも年越しの時期がやってきました。まゆ玉飾りは子ども達が大好きで、カラフルなまゆ玉を枝に挟めて付けるまでじーっと見つめる姿は真剣そのもの。玄関に飾られると、登降園のたびに見上げています。大掃除では、自分がいつも座る椅子をピカピカに磨き上げていました。



緑ヶ丘老人ホーム「園内年取り」

12月30日 2024年最後の行事、園内年取りを行いました。職員による恒例の紅白歌合戦では、それぞれ趣向を凝らし競い合いました。利用者にも大変好評で喜んでいただき、2024年も笑顔で締めくくることができました。



湯の里・黒松内「正月準備」

新館2階（ユニット）フロアでは大晦日の前日に、全員でお正月を迎える準備を行いました。



慶和園「正月飾り」

慶和園では12月に新型コロナウイルス感染症が拡大し、クリスマス会などの年末行事を行うことができませんでした。

お正月の準備として、地域の方より立派な正月飾りをお借りして正面玄関へ設置しました。一気に正月らしい華やかな空間となり、立ち寄る人皆足を止めてうっとり正月気分を味わっていました。



緑ヶ丘ハイツ「まゆ玉作り」

12月25日、まゆ玉飾りつけを利用者の皆さんと行いました。1階・2階・3階フロアの3つを作成。なかなかくっつかず飾りつけに皆さん真剣な表情をしていました。そんな中でも会話で、昔の思い出話に花が咲き談笑されていました。年の瀬に賑やかなひと時となり新年を迎える準備が整いました。



利用者が「謹賀新年」と自慢の筆さばきを披露し看板を作成しました。また、松や千両などのめでたい花材を使い自慢の華道の腕を活かし花を活けてくれました。

謹賀新年の看板と活け花、まゆ玉飾りと鏡餅が準備され、一気にお正月の雰囲気となりました。

黒松内保育園の 地域貢献事業

黒松内保育園に町内の小中学生が町探検や家庭科の授業、職業体験で来てくれました。夏休みに募集した「ちびっこボランティア」では、9日間で、延べ37人の小学生・中学生が来て好評でした。



「毎日お願いしたいです」と言う小学生もいました。ボランティアの小中学生は、子ども達に優しく向き合い、お兄さんお姉さんキラキラした瞳で見つめる園児たちの姿は、未来の保育士への想像が膨らむ事業となりました。

湯の里・黒松内 「ボランティア除雪」

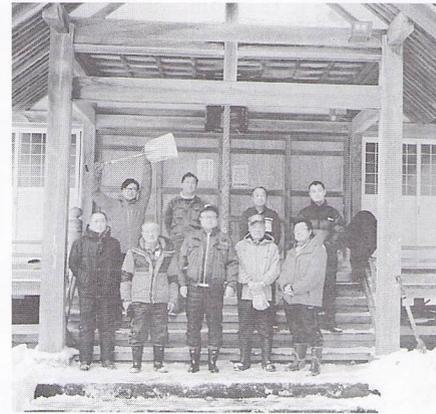
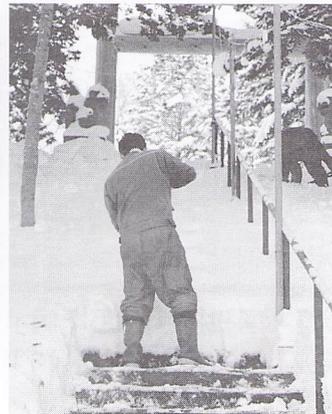
今年雪の降り始めが遅い割には雪が多い12月でした。湯の里・黒松内では黒松内町社会福祉協議会からの依頼の下町内で一人暮らしをされている方の自宅の除雪を行いました。タイヤショベルと除雪機を使い雪山をなくし綺麗に除雪しました。



緑ヶ丘老人ホーム 大鳥神社境内除雪

12月31日、社会奉仕の一環として大鳥神社の境内除雪を行いました。緑ヶ丘老人ホームが開設して以来、毎年欠かさず行っています。今年も職員と地域の

皆様とで行い、新年に向けて準備が整いました。これからも開設当初の想いに寄り添い、伝統を守っていききたいと思えます。



しめ縄交流会で地域交流 しりべしワークセンターセオス

12月7日に地域貢献事業として、黒松内町社会福祉協議会と協力し、毎年恒例のしめ縄交流会を開催いたしました。しりべし学園成人寮地域交流スペース

「ふらっと」に町内から6名の

方が参加され、リースと神棚用午房を編みました。1人で編むことが難しい方には、利用者が手伝い、皆さん納得のいくしめ縄を編むことができました。飾り付けもクリスマス



ス用、お正月用と思いいに行い、素晴らしいリース飾りや神棚用午房が完成しました。利用者と黒松内町民一緒にコミュニケーションを楽しみ、とても楽しかったとお声をいただきました。来年以降も継続して実施し、良い年越しのお手伝いのできればと思います。

法人会務の運営状況

(2024年11~12月開催分)

- ◆ 11月1日 事務担当者ミーティング
- ◆ 11月12日 施設長・副施設長会議
- ◆ 11月18日~22日 内部監査
- ◆ 11月26日 事務担当者ミーティング
- ◆ 11月27日 監事監査
- ◆ 11月27日~29日 監査法人期中往査
- ◆ 11月28日 虐待防止委員会
- ◆ 12月4日~6日 資金収支ヒアリング
- ◆ 12月10日 施設長・副施設長会議
- ◆ 12月13日 みなし理事会
- ◆ 12月17日 苦情解決委員会
- ◆ 12月19日 後志総合振興局しめ縄贈呈式

ご厚志に心から感謝申し上げます

(令和6年10月1日から令和6年12月15日まで)敬称は略させていただきます。

お詫びのご案内

社会福祉法人黒松内つくし園会報「ブナの里」では、これまで法人へのご厚志をいただきました皆様のご芳名を掲載してきましたが、個人情報保護の観点から、個人の方からのご厚志の紙面掲載を控えさせていただいております。

当法人へのご厚志に感謝申し上げますとともに、どうぞご理解のほどよろしくお願いいたします。

黒松内つくし園後援会、久光工業株式会社(以上黒松内町)、北海道新聞社会福祉振興基金(札幌市)

黒松内つくし園に クリスマスケーキ寄贈

12月25日、サンタさんとトナカイさんが来園し、70個のケーキとお菓子を届けてくれました。贈り主は、株式会社上田商会(本社 登別市)に勤める卒園生の滝吉正人さん(平成17年3月卒園)と、同社代表取締役社長 上田朗大様です。



滝吉さんは3歳から18歳までを当園で過ごしました。クリスマスにはわかさいも本舗に勤める卒園生の館洞勝雄さん(昭和40年3月卒園)が1人に1個ずつ手作りケーキを届けてくれ、

それをとても楽しみにしていたそうです。しかし平成27年、館洞さんの退職を機に、43年間続いたケーキの寄贈が終わりました。そのことを滝吉さんが上田社長に話したところ、令和元年からは上田商会がケーキを贈って下さるようになり、今年で6回目となります。

幼児と小学生はサンタさんからお菓子を受け取り大喜びでした。

小学生は「サンタさんが届けてくれたケーキはとってもおいしかったです。」と話してくれました。



令和七年「乙巳（きのとみ）年」がスタート

「特大しめ縄を後志総合振興局へ贈呈」



特大しめ縄を猪口後志総合振興局長(写真左)へ贈呈

12月19日、社会福祉法人黒松内つくし園就労支援B型事業所「しりべしワークセンターセオス」で作成した特大しめ縄を後志総合振興局に贈呈しました。新年の幸せを願ったしめ縄を、大代理事長、遊部施設長同席のもと、しりべしワークセンターセオス園芸課でしめ縄作りに携わっている工藤友強さんから猪口浩司後志総合振興局長に贈呈しました。



しめ縄が飾られた正面玄関

強さんは、緊張していた様子でしたが、無事に贈呈することができました。贈呈後、しめ縄作りのことや、園芸課作業の事など、同席された方々に説明し、猪口振興局長から「来年もよろしくお願ひします」とお声を頂きました。

贈呈したしめ縄は大変好評で、総合振興局の正面玄関に飾られ元旦を待つのみとなりました。

新年も旧年に増して「しりべしワークセンターセオス」にご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

(係長 小林健介 記)

編集後記

2024年があつという間に過ぎ去り、世相を表す漢字は「金」のようです。オリンピックでの金メダルラッシュや大谷選手の金宇塔が記憶に新しいです。一方、政治と金の問題や様々な物価高騰による金欠など暗い話題の影響も大きいでしょうか。法人の経営状況も非常に厳しく資金収支状況は悪化しています。

新型コロナウイルスは5類移行後も法人施設では引き続き感染が続いています。さらにインフルエンザなどの感染症の流行も多くなっており、年末行事をやむを得ず中止した施設も多いようです。医療・福祉施設ではやはりまだまだ注意が必要です。

千支は「十干」と「十二支」の60種類の組み合わせで、2025年は42番目の「乙巳（きのとみ）」であります。

「努力を重ね、物事を安定させていく」という意味合いを持つ年とされているようで、しっかりと着実に仕事も家庭も安定させていきたいと思えます。本年も法人の広報誌やホームページ、施設の広報紙を迅速に情報発信を行い、さらに読みやすく見やすくなるよう取り組んでまいります。会報ブナの里と法人広報委員会をどうぞよろしくお願ひいたします。

岡田

法人会報「ブナの里」第147号

発行年月日 令和7(2025)年1月1日発行
発行者 社会福祉法人 黒松内つくし園
発行責任者 法人会報ブナの里広報委員会

社会福祉法人 黒松内つくし園

〒048-0101 北海道寿都郡黒松内町字黒松内562番地1
電話:0136(77)2833 FAX:0136(75)7211

E-Mail: honbu1@viola.ocn.ne.jp URL:https://tsukushien.or.jp

